

令和2年度 試験研究概要

《研究課題名》

車椅子利用者の床ずれが起きやすい姿勢を判別するアルゴリズムの構築

《申請者》

フリガナ：カブシキガイシャアールティーシー
所属機関・団体：株式会社アール・ティー・シー
職位・氏名：代表取締役・櫻井仙長

《研究の概要》

介護施設等では歩行能力や認知機能の低下した高齢者や脊髄損傷患者は一日の大半を車いすで過ごしていますが、車いすに崩れた姿勢で長時間座っているとお尻に過度の圧力が加わり床ずれ(褥瘡)を発症する危険性があります。

床ずれは一度発症してしまうと長期間の医療的管理、介入が必要となり、完治しないことも珍しくなく、座る時間に制限が生じて活動量が減り、QOLを著しく低下させ、長期の治療や寝たきり状態となるばかりか、介護者の負担も増えます。

床ずれを防止するには原因となる姿勢の崩れを見守り、体位変換(座り直し)を促す必要がありますが、1~2時間毎に体位変換を行う介護者の負担は無視できません。

そこで当社ではこれらの負担を軽減させる為、姿勢が崩れて床ずれのリスクが高くなった時だけ介護者に知らせる装置を開発しています。

当事業では座面に敷き詰めた圧力センサで圧力の分布をモニターして床ずれが発症しやすいパターンを見分けるためのアルゴリズム(プログラムの計算方法)を構築します。

